

保健事業評価シート(対象:平成28年度実施事業) ※年度末評価

事業名	①特定健康診査未受診者対策事業	事業開始年度	28年度
担当課	住民課	担当係	国保係

1 事業概要「PLAN(計画)」

目 的	特定健康診査受診率向上
目 標	3年未受診者への訪問を200件実施、パンフレットの配布を年2回実施する。
対象者	40～64歳の特定健診未受診者
事業内容	特定健康診査3年未受診者への訪問。パンフレットの配付。
実施方法	①特定健康診査(集団健診)の案内を送付する際、受診勧奨のパンフレットを配付。 ②特定健康診査(集団検診)3年連続未受診者の抽出を国保連合会に依頼し、対象者に対して国保担当による受診勧奨の訪問を実施。訪問の際、施設健診・次年度集団健診の案内と併せて、パンフレットを配布。

2 実施結果「DO(実施)」

平成28年度 実施内容	①特定健康診査(集団健診)の案内を送付する際、「迷わず受けよう！特定健診」パンフレットを対象世帯へ配付。 ②特定健康診査(集団健診)3年連続未受診者を抽出し、対象者(213件)に対して訪問による受診勧奨を実施。訪問の際、「特定健診で健康チェック！」パンフレットを対象者へ配付。
------------------------	---

3 事業の分析「CHECK(評価)」

(1)指標

本年度の評価指標	本年度の実績	単位	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (実績)	前年度の 国の実績
			H27 (指標)	H28 (指標)	H29 (指標)	前年度の 国の目標値
特定健診受診率向上	実績の確定は来年度	数	44.3%	—	—	—
			—	45%	45%	60%
指標の達成状況	達成 ・ 未達成					

(2)評価

事業内容 の評価	3年連続未受診者の訪問を213人の対象者へ実施した。 訪問内容の結果としては、「病院での健康診査の受診」67人、「健康診査未受診」43人、「不在」103人となり、不在者を除く110人中、病院での健康診査受診者が約6割を占めていた。 また、3年連続未受診者の訪問の際に配布した施設健診等の案内により、施設健診を受診したいという相談が数件あり、訪問の効果がみられた。 ①改善が必要なもの 訪問件数のうち、半数が不在となっているため、不在者への対応(今年度は、パンフレット等をポストへ) ②今後の課題 訪問により、特定健診を受診した対象者の特定					
総合評価	A	B	C	D	訪問の目標値である200件を上回り、また、パンフレットの配付も年2回実施となったため、B評価とした。	

4 次年度以降の進め方「ACTION(改善)」

(1) すぐに改善 できるもの	次年度、集団健診・施設健診受診者と訪問を実施した213人の対象者を突合し、訪問による実績を明確にする。
(2) 改善に検討が 必要なもの	次年度、不在件数の減少のため、不在者への対応を検討する。
(3) 改善に相当な 時間を要するもの	

保健事業評価シート(対象:平成28年度実施事業) ※年度末評価

事業名	②特定保健指導未利用対策事業	事業開始年度	28年度
担当課	健康福祉課	担当係	健康増進係

1 事業概要「PLAN(計画)」

目 的	特定保健指導利用率向上
目 標	特定保健指導利用率50%
対象者	特定保健指導対象者
事業内容	特定保健指導対象者に訪問・面接し、保健指導、パンフレットの配付をする。
実施方法	特定保健指導対象者に栄養士、保健師が訪問・面接し、生活習慣病予防・重症化予防のための指導、パンフレットの配付をする。

2 実施結果「DO(実施)」

平成28年度 実施内容	・特定保健指導対象者に対しては、運動促進事業(フィットネスクラブ利用)参加を勧奨しつつ、栄養士、保健師で対象者全員訪問を目標に実施した。訪問、来所面接等で特定保健指導、運動促進事業の活用を実施した。対象者の中には日中不在で会えない方もおり、全数面接はできなかった。
----------------	--

3 事業の分析「CHECK(評価)」

(1)指標

本年度の評価指標	本年度の実績	単位	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (実績)	前年度の 国の実績
			H27 (指標)	H28 (指標)	H29 (指標)	前年度の 国の目標値
特定保健指導率50%	見込み 積極的支援:58.3% 動機づけ支援:85.7% トータル 74.6%	数		74.6%	—	—
				50%	—	—
指標の達成状況	達成・未達成					

(2)評価

事業内容 の評価	・集団教育の実施から運動促進事業への切り替えにより、対象者へ個別に関わる時間を増やすことができた。					
総合評価	A・B・C・D			特定保健指導率は目標の50%を超える見込みである。		

4 次年度以降の進め方「ACTION(改善)」

(1) すぐに改善 できるもの	①特定保健指導の早期開始 ②指導要項を作り、概ねのスケジュール管理(複数回継続支援の実施)
(2) 改善に検討が 必要なもの	①指導内容の資料等の均一化と指導方法の統一化(技術向上も含む) ②対象者との面接が困難な場合の対応方法の統一化
(3) 改善に相当な 時間を要するもの	①保健指導の結果反映

保健事業評価シート(対象:平成28年度実施事業) ※年度末評価

事業名	③ジェネリック医薬品差額通知・啓発事業	事業開始年度	28年度
担当課	住民課	担当係	国保係

1 事業概要「PLAN(計画)」

目的	ジェネリック医薬品の普及率向上・周知、医療費削減
目標	ジェネリック医薬品差額通知書の送付を年12回実施、広報への掲載を年1回実施、被保険者証更新時にパンフレットを同封する。
対象者	ジェネリック医薬品移行可能な者
事業内容	ジェネリック医薬品差額通知書の送付。広報での周知。パンフレットの配布。
実施方法	①ジェネリック医薬品差額通知書の送付(各月) ②村広報紙での周知広告の掲載。 ③被保険者証更新時にパンフレットの同封。

2 実施結果「DO(実施)」

平成28年度 実施内容	①ジェネリック医薬品差額通知書の送付。(各月) ②村広報紙での周知広告の掲載。(6月号・2月号) ③被保険者証更新時にパンフレットの同封。 ④「ジェネリック医薬品希望カード」の作成。
----------------	--

3 事業の分析「CHECK(評価)」

(1)指標

本年度の評価指標	本年度の実績	単位	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (実績)	前年度の 国の実績
			H27 (指標)	H28 (指標)	H29 (指標)	前年度の 国の目標値
ジェネリック医薬品 利用率向上	平成28年(1～12月)年間平均利用率 〔66.7%〕 ※平成27年(1～12月)年間平均利用率 〔54.0%〕	数	54.0%	66.7%	—	56.2%(H27.9時点)
				60.0%	70.0%	80.0% (30年度～32年度末までの 間のなるべく早い時期に)
指標の達成状況	達成・未達成					

(2)評価

事業内容 の評価	ジェネリック医薬品利用率の向上(+12.7%)を達成。					
	平成27年 後発医薬品利用率 平成27年 後発医薬品利用率 年間平均 54.0% 平成28年 後発医薬品利用率 平成28年 後発医薬品利用率 年間平均 66.7% - 改善が必要なもの 「ジェネリック医薬品希望カード」の設置個所の検討。(村内医療機関への設置等) - 今後の課題 ジェネリック医薬品のさらなる周知・使用の促進を進めていきたい。					
総合評価	A・B・C・D		ジェネリック医薬品の利用率が6割を超えて7割に近い数値になり、目標達成としてB評価とした。			

4 次年度以降の進め方「ACTION(改善)」

(1) すぐに改善 できるもの	①「ジェネリック医薬品希望カード」の形状の改善。 ②広報紙掲載時の内容の改善。
(2) 改善に検討が 必要なもの	①ジェネリック医薬品の普及率向上・周知のため、各集会(いきいきサロン)等での広報活動。 ②作成した「ジェネリック医薬品希望カード」の設置個所について村内医療機関に設置を依頼。
(3) 改善に相当な 時間を要するもの	①平田村の国保のキャラクターとして、Dr.ジュッピー・Ns.ジュッピーが今年度より作成されたので、検診時や各種イベント時に国保制度の広報用として使用できるよう、それぞれの着ぐるみの作成をする。

保健事業評価シート(対象:平成28年度実施事業) ※年度末評価

事業名	④国保人間ドックの実施	事業開始年度	28年度
担当課	住民課、健康福祉課	担当係	国保係、健康増進係

1 事業概要「PLAN(計画)」

目 的	特定健康診査受診率向上
目 標	人間ドック受診率40%
対象者	35,40,45,50,55,60,65歳の被保険者
事業内容	35,40,45,50,55,60,65歳の被保険者を対象に受診費用の助成
実施方法	①村契約7医療機関で6～1月までの間で実施。被保険者が村に予約の上、希望医療機関に受診する。 ・公立小野町地方総合病院、星総合病院、坪井病院、総合南東北病院、太田熱海病院、ひらた中央病院、公立岩瀬病院

2 実施結果「DO(実施)」

平成28年度 実施内容	①人間ドックの案内送付、希望者の受付(4月) ②人間ドック実施(村契約7医療機関)(6～1月) ③受診者に結果送付、結果管理 ④各医療機関にドック委託料支払い
----------------	--

3 事業の分析「CHECK(評価)」

(1)指標

本年度の評価指標	本年度の実績	単位	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (実績)	前年度の 国の実績
			H27 (指標)	H28 (指標)	H29 (指標)	前年度の 国の目標値
人間ドック 受診率40%	国保被保険者 30.6%	数		30.6%	—	—
				40.0%	—	—
指標の達成状況	達成 未達成					

(2)評価

事業内容 の評価	国保被保険者 235人中、72人受診。受診率30.6% (ただし、上記受診者に村特定健康診査、健康診査受診者35人を加えた受診率は45.5%)					
総合評価	A B C D	ドック受診率が目標には達成していないが、健診受診者を加えると45.5%を超える。よって概ね目標達成と判断した。				

4 次年度以降の進め方「ACTION(改善)」

(1) すぐに改善 できるもの	①個人通知による要精検の受診勧奨
(2) 改善に検討が 必要なもの	①精密検査の受診勧奨やと保健指導、事後管理の徹底 ②新規契約医療機関を増やす
(3) 改善に相当な 時間を要するもの	

保健事業評価シート(対象:平成28年度実施事業) ※年度末評価

事業名	⑤高血圧、糖尿病、脂質異常症、CKDの重症化予防事業	事業開始年度	28年度
担当課	健康福祉課	担当係	健康増進係

1 事業概要「PLAN(計画)」

目 的	高血圧、糖尿病、脂質異常症、CKDの重症化予防
目 標	対象者全員に保健指導を実施し次年度の検査データの改善をする。
対象者	特定健康診査結果の血圧、血糖HbA1c、LDLコレステロール、eGFRが規定値を超えた者
事業内容	ツールで対象者を特定し訪問による保健指導、パンフレットの配付。
実施方法	①対象者の抽出、選定後、栄養士、保健師で訪問、面接による保健指導

2 実施結果「DO(実施)」

平成28年度 実施内容	①対象者の抽出、選定(H28.11月) ②栄養士、保健師で担当を決め訪問、面接実施。 ③スタッフ間で情報共有し結果報告
----------------	---

3 事業の分析「CHECK(評価)」

(1)指標

本年度の評価指標	本年度の実績	単位	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (実績)	前年度の 国の実績
			H27 (指標)	H28 (指標)	H29 (指標)	前年度の 国の目標値
・保健指導実施率 100%	①CKD:9/9人指導 ②血圧:11/14人指導 ③血糖:8/9人指導 ④脂質:21/25人指導 (46/54人 指導 85.2%)	数		85.2%	—	—
				100.0%	—	—
指標の達成状況	達成 未達成					

(2)評価

事業内容 の評価	・全数保健指導の目標で実施した。面接できず書面指導の分も含まれる。通院しているものの 疾病の理解が不足していたり生活改善の意識が無い、又は受診の必要性が無い等の現状 有。今後も効果的な保健指導の実践を継続していく。					
総合評価	A ・ B C D	未達成のためCとした。				

4 次年度以降の進め方「ACTION(改善)」

(1) すぐに改善 できるもの	①対象者抽出を早期にする。 ②時期に応じた具体的な訪問計画を立てる。
(2) 改善に検討が 必要なもの	①保健指導用の資料や指導内容の統一化と内容の充実(指導技術向上) ②経年的な健診結果や健康状態の評価をする。
(3) 改善に相当な 時間を要するもの	

保健事業評価シート(対象:平成28年度実施事業) ※年度末評価

事業名	⑥医療機関未受診者受診勧奨事業	事業開始年度	28年度
担当課	健康福祉課	担当係	健康増進係

1 事業概要「PLAN(計画)」

目的	高血圧、糖尿病、脂質異常症、CKDに係る異常値を放置している対象者の医療機関受診
目標	対象者全員に保健指導を実施し医療機関未受診者を減少させる。
対象者	特定健康診査結果の血圧、血糖HbA1c、LDLコレステロール、eGFRが規定値を超えた者の内、医療機関未受診者
事業内容	ツール、レセプト等で対象者を特定し訪問、電話による保健指導、医療機関受診勧奨、パンフレットの配付。
実施方法	①対象者の抽出、選定後、栄養士、保健師で訪問、電話による保健指導、医療機関受診勧奨、パンフレットの配付。

2 実施結果「DO(実施)」

平成28年度 実施内容	①対象者の抽出、選定(H28.11月) ②栄養士、保健師で担当を決め訪問、面接、電話実施。 ③スタッフ間で情報共有し結果報告 ④通知による受診勧奨(8月、2月)
----------------	---

3 事業の分析「CHECK(評価)」

(1)指標

本年度の評価指標	本年度の実績	単位	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (実績)	前年度の 国の実績
			H27 (指標)	H28 (指標)	H29 (指標)	前年度の 国の目標値
受診勧奨実施率 100%	①CKD:9/9人通院 ②血圧:7/14人通院 ③血糖:7/9人通院 ④脂質:15/25人通院 (計 37/57人通院 64.9%)	数		64.9%	—	—
指標の達成状況	達成・ 未達成			—	—	—

(2)評価

事業内容 の評価	高血圧、糖尿病、脂質異常症、CKDの重症化予防事業保健指導と共に未受診者に対する受診勧奨を訪問、通知により実施。受診率は64.9%である。重症化予防のため継続勧奨する。					
総合評価	A・B・ C ・D					

4 次年度以降の進め方「ACTION(改善)」

(1) すぐに改善 できるもの	①対象者抽出を早期にする。 ②時期に応じた具体的な訪問計画を立てる。
(2) 改善に検討が 必要なもの	①保健指導用の資料や指導内容の統一化と内容の充実(指導技術向上) ②経年的な健診結果や健康状態の評価をする。
(3) 改善に相当な 時間を要するもの	

保健事業評価シート(対象:平成28年度実施事業) ※年度末評価

事業名	⑦運動促進(フィットネス利用)事業	事業開始年度	28年度
担当課	住民課	担当係	国保係

1 事業概要「PLAN(計画)」

目的	フィットネス利用による運動促進、メタボリックシンドロームの予防・改善、特定保健指導の強化・充実
目標	フィットネス利用率を50%にし、腹囲・BMIの数値を減少させる。
対象者	特定保健指導対象者
事業内容	特定保健指導対象者へフィットネス利用券を配付し、規定回数の利用で健康グッズの贈呈。
実施方法	①特定健康診査(集団健診)の結果から特定保健指導対象者を抽出し、対象者へフィットネスクラブ利用チケット(10回分)・スタンプカードを配布。 ②対象者が来館した際に腹囲等の測定値を測定結果表に記入し、フィットネスクラブを利用する。(測定値を記入した測定結果表については、特定保健指導の運動指導として評価) ③対象者がフィットネスクラブ利用10回を達成した際には、記念品を贈呈。

2 実施結果「DO(実施)」

平成28年度 実施内容	①特定健康診査(集団健診)の結果から特定保健指導対象者(63人)を抽出し、対象者へフィットネスクラブ利用チケット(10回分)・スタンプカードを配付。 ②フィットネスクラブ利用10回を達成した対象者(5人)へ記念品を贈呈。 ③フィットネスクラブを利用した対象者の腹囲等の測定値を特定保健指導の運動指導として評価。
----------------	---

3 事業の分析「CHECK(評価)」

(1)指標

本年度の評価指標	本年度の実績	単位	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (実績)	前年度の 国の実績
			H27 (指標)	H28 (指標)	H29 (指標)	前年度の 国の目標値
フィットネスクラブ 利用率50%	14.28% (63人中9人利用)	数		14.28%	—	—
				50%	50%	—
指標の達成状況	達成 未達成					

(2)評価

事業内容 の評価	特定保健指導対象者63人中、チケット利用者は9人(14.28%)と目標を達成することはできなかったが、利用10回を達成した対象者は9人中5人(総利用回数73回)、記念品に利用チケットを選んだ対象者は、5人中3人となり、運動をすることに対する意欲がみられた。 1 改善が必要なもの ・利用率向上のための周知方法について検討する。 ・有効期限の延長(年度末から次年度対象者抽出まで期間が空いてしまうため) 2 今後の課題 ・腹囲等の測定結果を用いて、年間の運動指導の評価をできるよう、一定のペース(月2回)での利用のための利用チケット回数の増加、月の回数制限などを検討。
総合評価	A・B C・D 利用率50%の目標を達成することはできなかったが、利用者の運動に対する意欲がみられたためC評価とした。

4 次年度以降の進め方「ACTION(改善)」

(1) すぐに改善 できるもの	有効期限の期間を次年度5月31日まで延長。
(2) 改善に検討が 必要なもの	周知方法について検討
(3) 改善に相当な 時間を要するもの	一定のペースでの利用のための利用チケット回数の増加、月の回数制限を検討

保健事業評価シート(対象:平成28年度実施事業) ※年度末評価

事業名	⑧減塩促進・啓発事業	事業開始年度	28年度
担当課	住民課・健康福祉課	担当係	国保係・健康増進係

1 事業概要「PLAN(計画)」

目 的	減塩促進・啓発
目 標	村内飲食店(商工会・うつくしま健康応援店)への減塩促進資材全店舗配付
対象者	村内飲食店(商工会・うつくしま健康応援店)
事業内容	村内の飲食店へ減塩促進資材を配付し、来店者への減塩の促進、村広報での呼びかけ。
実施方法	①減塩スプレーを購入し、国保キャラクター、標語等のシールを貼付したものを村内飲食店に配付。 ②店舗内へ掲示するための減塩に関するポスターを減塩スプレーと併せて配付。 ③村広報紙での減塩促進・啓発事業の掲載。

2 実施結果「DO(実施)」

平成28年度 実施内容	①減塩スプレーに標語等のシールを貼付したものと減塩に関するポスターを作成し、村内飲食店(商工会14店舗、うつくしま応援店4店舗)への配布を実施。 ②減塩スプレーの配付に合わせて村広報紙への掲載を実施。
----------------	---

3 事業の分析「CHECK(評価)」

(1)指標

本年度の評価指標	本年度の実績	単位	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (実績)	前年度の 国の実績
			H27 (指標)	H28 (指標)	H29 (指標)	前年度の 国の目標値
村内飲食店 全店舗配付 (100%)	村内飲食店 全店舗配付 (100%)	数		100%	—	—
				100%	—	—
指標の達成状況	達成 未達成					

(2)評価

事業内容 の評価	村内飲食店全店舗への配付を達成。 1 改善が必要なもの 使用状況等の調査。 2 今後の課題 国保被保険者世帯に配付し、減塩の促進・啓発・周知をしていきたい。					
総合評価	A ・ B ・ C ・ D		村内飲食店全店舗配付の目標が達成となったためB評価とした。			

4 次年度以降の進め方「ACTION(改善)」

(1) すぐに改善 できるもの	①使用状況等が分からないため、村内飲食店へのアンケート調査を実施する。
(2) 改善に検討が 必要なもの	①国保被保険者世帯への配付を実施するための予算等の検討。
(3) 改善に相当な 時間を要するもの	